

ひょうご経済

中小企業向けに兵庫県 技術者研修を支援 近畿工業で試験実施

兵庫県は10日、中小企業
の研究・開発担当者らの人
材育成研修を支援する検討
を始めた。発表は。まず

モデルケースとして、環境
・リサイクル機器メーカー
の近畿工業(神戸市中央区)
で実験的に行う。この結果
を踏まえ、来年度から研修
への助成を検討する。

人手不足が続く、特に中
小企業にとっては大卒や大
学院卒の理系人材を採用す
ることが難しくなっている
。その中で、新分野への
進出や技術の高度化に対応
するため、新たな知識の獲
得を目指す中小企業の研究
・開発者らの支援を目指
す。教育・研修費などを助
成する方針という。

12日から兵庫県立大の教
授らを迎えて、近畿工業の
三木工場(三木市)で研修
を開始。30〜40歳代の研究
者や技術開発の担当者ら15
人が、3期に分けて「化学」
「制御」「機械工学」を計

車アルミ材 550億円投資

神鋼軽量化へ設備増強

81時間受講する。
同社の和田直哉社長は
「人手不足で優秀な人材の
採用は難しい。社員の能力

免疫分野強化へバイオ薬拠点 シスメックス総額180億円

医療用検査機器大手のシ
スメックス(神戸市中央区)

は10日、バイオ診断薬の開
発・生産拠点を同市西区に
新設する計画を明らかにし
た。免疫検査と、血液の固
まりやすさをみる検査の各
事業分野などを強化する。
投資総額は約180億円。

2分野のうち特に免疫分
野はまだ市場シェアが小さ
く、今後の成長が期待でき
る。開発力を強化して試薬
の性能を高め、病院への販
路拡大を目指す。

同社の研究施設テクノパ
ークと、子会社のシスメッ
クス国際試薬の本社に隣接
する区画を取得。本年度中

◆シスメックス3月期・連結

	前期比%
売上高	249,899 ▲1.1
営業利益	51,701 ▲14.9
純利益	40,636 3.5
配当年	58 52円
◇18年3月期予想	
売上高	275,000 10.0
営業利益	57,000 10.2
純利益	41,000 0.9
配当年	60 58円

(表の数字の単位は百万円。▲は赤字計上、割合減少。前期の配当は実績)

経済部

TEL : 078-366217094
FAX : 078-366015511
e-mail : keizai@kobe-np.co.jp

を引き上げることで対応し
たい」と話す。
実際に制度化されれば、
1社での研修だけでなく、

複数の中小企業を対象に合
同で実施することも検討。
講義を行う大学も拡大する
という。(塩津あかね)

アサヒHD 最終赤字転落 子会社不振で8年ぶり

3月期連結

貴金属リサイクルのアサ
ヒホールディングス(HD)、
神戸市中央区)が10日発表
した2017年3月期連結結
決算(国際会計基準)は、
北米の子会社2社の業績不
振に伴って損失を計上した
ため、純損益が赤字に転
落した。最終赤字は8年

15年に買収した金や銀を
精錬加工する米國とカナダ
の子会社。取引先のコスト
増加や貴金属業界全体の低
迷により受託加工の単価が
下落したため、ブランド価
値に当たる「のれん代」で
約75億円を減損処理した。

県内連結決算 (17年3月期)

◆好採算品の販売強化で経
常増益【石光商事】(神戸市
灘区) 価格競争の激化で減収
だったものの、採算性の高い
高級コーヒー生豆などの販売
強化で経常利益は増えた。た
だ、確定拠出年金への移行に
伴って

◆半導体需
続増収増益
戸市東灘区)
造装置向け
要拡大に伴
ユなどの製
保守案件も増

◆JCRファーマ3月期・連結

	前期比%
売上高	18,085 3.7
経常益	2,534 3.7

の着工、18年度末の完成を
目指す。家次恒会長兼社長
は「人員をそろえ、バイオ
診断薬のレベルをさらに引
き上げる」と話した。
同日発表した2017年
3月期連結決算(国際会計
基準)は、売上高が前期比
1・1%減の2498億9
900万円、営業利益が14
・9%減の517億100
万円。売上高の8割以上を
海外が占め、現地通貨ペー
スでは世界の全エリアで増
収だったが、円高が響いた。
また同日、3力年の中期
経営計画を発表し、202
0年3月期の目標として売
上高3500億円、営業利
益720億円などを掲げ
た。(長尾亮太)

◆3年連
売上高の6割
成長ホルモ
かす手間を
の投入と新
好調。昨年
骨髄移植時
引き合いが
も増収増益

会社名	売上高	営業利益
川柳白慢	▲	▲
古希	▲	▲
失言	▲	▲
鉾石	▲	▲
川投	▲	▲